

サステナビリティ



UBEグループのサステナビリティの推進とは、企業の経営そのものです。企業価値や存在意義を高め、将来に向けて持続的に成長していくこと、また、日々の対話を通じて、ステークホルダーからの信認を深め、広く社会との共生を図っていくこと、そして、これらの事業活動を通じて、創業の精神である「共存同栄」の輪をステークホルダーとともにグローバルに拡げていくことが、サステナビリティの追求、企業価値の向上や社会との共生につながっていくと考えています。

国連グローバル・コンパクト

2021年4月、UBEはサステナビリティ経営を推進するにあたって、世界最大の持続可能性イニシアティブである「国連グローバル・コンパクト」に署名し、「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入しました。UBEグループは創業の精神と経営理念に基づき、「国連グローバル・コンパクト」が掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持するとともに、着実に実践し、グローバルな事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。



サステナビリティ基本指針

2021年4月、サステナビリティ経営を推進するため、CSR基本指針を「サステナビリティ基本指針」に改定しました。

UBEグループは、創業の精神と経営理念に基づき、事業を通じて社会のサステナビリティに貢献します。

1. 国内外の法令と遵守すべき国際的な規範やガイドラインに則り、人権尊重を実践し、健全で公正な企業活動を行います。
2. 社会の要請に沿ったコーポレート・ガバナンスを追求し、収益の継続的な拡大と企業価値の向上を図ります。
3. 安全と品質を確保し、環境に配慮した製品を提供します。
4. 事業活動における環境負荷の低減や資源の有効活用に努め、地球環境の保全に取り組みます。
5. すべてのステークホルダーに対し、適切な情報開示を行い、社会との円滑なコミュニケーションを推進します。
6. 良き企業市民として、国内外で社会貢献活動を推進し、地域の発展に寄与します。

社会貢献活動

UBEグループは「グローバルな共生」を目指し、国内外で社会貢献活動を推進し、地域の発展に寄与したいと考えています。

● 社会貢献活動推進体制

UBEグループの社会貢献活動は、「UBEグループ社会貢献活動指針^(注)」に基づき、グループの各社・各事業所で自主的に実施するとともに、それぞれトップマネジメントに定期的に報告しています。毎年、各事業所およびグループ会社に対して社会貢献活動実績調査を行い、UBEグループが実施した社会貢献活動を確認するとともに、担当役員に報告するなど、グループ全体で実績を共有することで、より効果的な取り組みを推進しています。

なお、UBEにおける活動資金や寄付活動については、金額等に応じて社長または担当役員承認を実施要件としています。

● 主な社会貢献活動

UBEグループは、「地球環境」「地域社会」「学術・研究」「教育・文化」の4分野を中心に、さまざまな社会貢献活動への投資を行っています。2020年度の社会貢献活動支出実績は約2.2億円です。

1. 地球環境—豊かな地球環境を維持し、次世代が将来にわたり安全・安心に暮らせる地球環境の確保を目指します。
2. 地域社会—120年を超えて受け継がれてきた創業の精神の一つ「共存同栄」に基づき、地域社会の発展に貢献します。
3. 学術・研究—大学や研究機関への協力を通じ、学術文化の発展と豊かな創意を備えた人材の育成を目指します。
4. 教育・文化—未来を担う世代に化学の魅力を幅広く伝えるとともに、文化芸術活動への支援を継続しています。

(注) 社会貢献活動の詳細については、「地域社会とともに」をご覧ください。

<https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/sustainability/communication/community.html>

社会貢献活動

